

移行期医療とは？

移行期医療とは、小児ケアモデルから成人ケアモデルに切り替えていくプロセスです。移行の目標は、医療を活用し、青年期患者の自己管理能力を最大限に引き出す支援を行うことです。この目標を達成するためには、青年期患者が自立した健康管理スキルを習得し、成人ケアモデルに対する心構えをし、ケアを中断することなく新しい医療提供者に移行できるよう支援する系統化された移行プロセスが必要です。

主要 6 要素とは？

「移行期医療に関する主要 6 要素 2.0」は、移行期医療支援に関する基本的な要素を明確にしています。これらの要素には、移行ポリシーの作成、進捗の追跡、移行準備状況評価の実施、成人としてのケアに向けての計画、転院（転科）、成人診療科への受け入れが含まれます。

異なる診療パターンに当てはめられる 3 種のツールがございます。

- 青年期患者の成人医療提供者への移行（小児医療、家庭医療、内科-小児科 関係者）
- 医療提供者が変わらない成人としてのケアへの移行（家庭医療、内科-小児科 関係者）
- 若年成人患者の成人診療科への受け入れ（家庭医療、内科-小児科 関係者）

米國小児学会/家庭医学会/内科学会の移行に関する報告に合わせ、「移行期医療に関する主要 6 要素 2.0」はプライマリーケアや専門診療での活用を目指しています。初版は 2009 年に開発されましたが、最新改訂版では、いくつかの州で近年行われた移行期医療の共同研究の成果、米国や諸外国での移行期医療の改革に関する考察、そして 50 人以上の小児期ならびに成人期医療の専門家、移行期医療に深く関わった青年期患者と家族のレビューを取り入れています。

推奨される移行期医療のタイムライン

AGE	12	14	16	18	18-22	23-26
	青年期患者や家族に移行ポリシーについて知らせる	移行期医療支援計画を開始する	青年期患者・保護者に成人ケアモデルに対する心構えをさせ、移行/転院(転科)について話し合う	ケアモデルを成人向けに移行	成人医療機関もしくは専門医に、転院(転科)のための資料と共に移行	若年成人患者の成人診療科への受け入れ

どのように主要 6 要素を実施すればよいか？

すべての移行の取り組みにおいて地域受入れ能力を反映する必要がある為、「質を向上させる取り組み」(QI)は、主要 6 要素を実施するにあたり、効率的で効果的な方法とされてきました。QI のプロセスを開始するにあたり、小児並びに成人医療従事者、医療支援スタッフ、そして青年期患者・家族でチームを組み、それぞれの主要要素をレビュー、カスタマイズ、テストし、普及させます。

主要 6 要素の実施における進捗はどのように評価できるか？

考慮すべき 2 つの選択肢があります。一つは、質的な自己評価方法(「移行期医療支援の現状評価」)、そしてもう一つは量的な採点法(「移行期医療支援進捗評価ツール」)です。どちらの方法も開始時に現状を評価する為に実施され、その後、進捗評価の為に定期的に用いられます。

移行プロセスに対する患者の満足度をどのように評価し、どのように移行プロセスを改善できるか？

成人としてのケアへの移行後、診療科は患者および（もしくは）両親に、匿名の満足度調査を行うことができます。「移行期医療のフィードバック調査」のサンプルは、3 種のツールそれぞれにございます。